

受章おめでとうございます

第29回長崎県消防ポンプ操法大会 「小型ポンプ操法の部」で準優勝

長崎県消防ポンプ操法大会が8月3日(日)、大村市の長崎県消防学校で開催され、「小型ポンプ操法の部」で市消防団(福島地区)が準優勝という輝かしい成績を収めました。

操法大会は模擬火災訓練として実施され、小型ポンプ操作の正確さや素早さを競う大会で、消防団員の技術向上と士気の高揚を目的として2年に1回開催されています。大会では標的が倒れるタイム(基準45秒)と、確実な動作やチームワークなどを加味し、総合的な審査で順位が決まります。

大会には県内から15チームが出場。市消防団はタイムで42秒と基準タイムを3秒上回り、優勝した壱岐市消防団より2秒程早かったものの、動作などの総合得点で惜しくも準優勝となりました。



出場した選手と監督たちは、大会に向け、時間の短縮と、よりきれいな規律を身につけることを目標に、4月以降、仕事を終えた夕方から毎日のように練習に励んできました。

大会を終えた選手たちは、「普段の練習どおりにできたと思う。自分たちがここまでできたのも、消防団、地域や職場の皆さん、そして家族の協力があつたからこそ。また消防署職員の熱心な指導によるものであり、その全員に感謝したい!」とすべてを出し切った充実感に満ちたような笑顔で話していました。



「敬老の日」に寄せて

朝夕はやつと秋らしい爽やかな季節となりましたが、今年の夏は例年にも増して猛暑続きではなかったかと思っております。敬老の日を迎えるにあたり、皆様のご長寿を心からお慶び申し上げますとともに、松浦市民を代表して一言ご挨拶申し上げます。

皆様は、明治、大正、昭和、そして平成と激動の時代を歩まれ、幾多の困難を乗り越えられ、今日の松浦市の礎を築いてこられました。そのご努力、ご功績に対し、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

さて、「敬老の日」は、「多年にわたり社会につくしてこられた老人を敬愛し、長寿を祝う日」とされており、また9月15日から21日までの一週間は「敬老週間」とされており、私たち一人ひとりが、これまで以上に家庭、地域社会、職場、学校などいろいろな場面で世代間の交流を深めるなど、社会全体のテーマとして、取り組んでまいらなければならないものと考えております。

また、本市は、目指すべき将来像を「次代をはぐくむ 産業創造都市 まつうら」として、その実現に向け、総合計画に掲げた事業を着実に推進してまいりますとともに、行政改革実施計画などに基づき、効率的な行政運営と経費の節減を図りながら財政基盤の強化に努めてまいることとしております。

皆様におかれましては、これまで培ってこられた大変貴重な経験を生かしていただき、松浦市政推進に対し、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、益々お元気で活躍くださいますよう心から祈念申し上げます。お祝いのことばといたします。

平成20年9月

松浦市長 友 広 郁 洋